



社交ダンス&フォークダンスフェスティバル 11/29

道文化団体協議会主催による第39回日高管内道民芸術祭『社交ダンス&フォークダンスフェスティバル』が町公民館で開かれ、約150人が来場しました。

管内道民芸術祭で社交ダンスとフォークダンスが共演するのは初めてのことで、4町6団体の会員が参加し、客席の間近まで迫る華麗なダンスステージを披露しました。

ゲストステージでは、千歳市でダンス教室を開き、各コンクールで活躍している杉原充・杉原梨沙ペアが模範ダンスを披露し観客を魅了しました。



第11回みついし牛枝肉共励会褒賞授与式 11/26

『第11回みついし牛枝肉共励会』の褒賞授与式がJAみついで開かれ、三石本桐の前川忠昭さんが出品したみついし牛が最優秀賞に選ばれました。

共励会は、三石地区を中心に新冠町からえりも町までの広域で「みついし牛」のブランドで出荷している黒毛和牛の肥育技術向上を目的に毎年開催。

11月25日に東京食肉市場で行われた審査には、36頭が出品され、ほとんどが評価の高いA5・A4ランクという好成績を収めました。



ムックリ作り



メナチャシ見学

イオル再生事業 11/15-29

15日に『イオル再生事業空間活用事業』が町公民館で、29日に『イオル再生体験交流事業アイヌ文化歴史講座』が静内地区の史跡で行われました。

どちらも小学生から70代までの町民約20名が参加し、アイヌ文化に関する知識を深めました。

『空間活用事業』では、古式舞踊の披露やムックリ作り体験、アイヌ料理の試食が行われ、『アイヌ文化歴史講座』では、自然を利用したチャシの見学や町内のアイヌ語地名について現地研修を行いました。



まちのできごと、話題をお届けします。



日本ハムファイターズ選手による野球教室 11/29

北海道日本ハムファイターズ新ひだか後援会（折手裕一会長）主催の『野球教室』が町静内体育館で行われ、静内中、静内第三中学校の野球部員19名が参加しました。

杉谷拳士選手、鍵谷陽平選手、芝草宇宙元コーチが来町し、送球やバッティング、走塁などの練習メニューを通して、一人ひとりに丁寧な指導を行いました。

また、町内の野球少年団員と保護者ら約100名が見学を訪れ、最後に記念写真を撮影し、子どもたちはとても嬉しそうな表情をしていました。



家庭生活での整理収納教室 11/28

町主催の平成27年度新ひだか町男女共同参画推進事業『家庭生活での整理収納教室』がビュープラザで開かれ、家庭を持つ男女22名が参加しました。

エコ・スタイルの後藤えいこ氏を招き、“整理”“収納”“掃除”は全て家事と一くりにされているが、これらはまったく別の作業であること、それぞれ方法やコツが違うことについて、実体験を取り入れながら講話いただきました。

参加者からは感心の声が漏れ、整理収納について知識を深めていました。年末の大掃除に向けて、役立ちそうですね。



新ひだかエゾシカサミット 11/21

新ひだかFood倶楽部（一條忠春部長）主催による『新ひだかエゾシカサミット』が町公民館で初めて開かれ、町内外から約60名が参加しました。

基調講演では、エゾシカ協会の井田宏之専務理事から、農林業被害の現状やエゾシカ肉の有効活用の事例について講演いただき、パネルディスカッションでは、日高管内の食肉業関係者ら4人が、エゾシカ肉の処理や管理、食べ方等について語り合いました。

また、エゾシカ肉を使った料理の試食も行われ、参加者は予想以上の柔らかさと美味しさに舌鼓を打ちました。



お父さん・お母さん混合バレーボール大会 11/15

町教育委員会主催による『第10回新ひだか町長杯争奪お父さん・お母さん混合バレーボール大会』が町静内体育館と山手体育館で開かれました。

町内の幼稚園・保育所・小中学校・高等学校16団体から計24チームが参加し、白熱した試合を繰り広げました。

ポジションのルールやネットの高さが違うなど、クラス別の規則でAクラスは「高静小A」、Bクラスは「高静小B」、Cクラスは「静幼オロナミンC」が優勝を飾りました。



救急車のお披露目 12/1

日高中部消防組合消防署に新たな高規格救急車が配備され、役場静内庁舎前でお披露目を行いました。また、高度救命処置用資機材を新たに整備し、救急救命士の処置拡大が図られるようになります。



就農相談会 11/22

町農業担い手育成支援協議会（有田英二会長）は、ミニトマトと花き栽培の農業研修生を募る『就農相談会』を町公民館で開き、町内外から2組3名が参加しました。



三石産米「トキノミノル」寄贈 11/20

みついし水稲振興会（小林嘉弘会長）は、三石産の新米「トキノミノル」を多くの人に食べてもらいたいと、約170kgを蓬萊荘や三石小中学校などに寄贈しました。



老人スポーツ大会 11/19

『第42回新ひだか町三石老人スポーツ大会』が三石スポーツセンターで行われました。8チームが参加し、「大玉転がし」など9種類の競技で競い合い、延出老人クラブが優勝に輝きました。

白寿祝状授与

次の方々が白寿を迎え、ご家族が見守る中、酒井町長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長、木村副会長から記念品が贈られました。みなさん、これからもお元気でお過ごし下さい。



城地タカさん 11月20日

城地タカさん（三石歌笛）が11月20日に99歳の誕生日を迎え、入所先の特別養護老人ホーム静寿園で、家族とともに白寿を喜びました。城地さんは、旧三石村大字姨布村で生まれ、昭和11年に旧三石村歌笛支所に勤務していた故・正二さんと結婚し、8人の子宝に恵まれ、現在は孫が11人、ひ孫が14人います。若い頃は野菜作りが趣味で、90歳まで子どもたちのために野菜作りをしていたそうです。平成25年に静寿園に入所し、入所者の皆様と会話を楽しんだり、積極的に行事へ参加されています。



外館福次郎さん 12月1日

外館福次郎さん（東静内）が12月1日に99歳の誕生日を迎え、ドライブインあさり浜で、子どもからひ孫約30人の家族が駆けつけ、ともに白寿を喜びました。外館さんは、後志管内倶知安町出身で、早くに親を亡くしたため各地で働き、出征を経て戦後は東静内に戻り、漁師を営みました。昭和10年頃に故・トミヨさんと結婚し、6人の子宝に恵まれ、現在は孫とひ孫が16人ずつ、玄孫が1人います。95歳まで漁に使う網や縄の手入れを行っていたそうで、現在は孫と一緒に暮らしています。



及川かつよさん 12月2日

及川かつよさん（静内中野町）が11月26日に99歳の誕生日を迎え、入院先の静和会石井病院で、家族とともに白寿を喜びました。及川さんは、新冠町東泊津出身で、昭和10年頃に旧静内町農屋の故・忠雄さんと結婚し、6人の子宝に恵まれ、現在は孫が12人、ひ孫が20人います。朝から晩まで働きものだったそうで、平成6年に忠雄さんが亡くなった後は、一人暮らしをしてきましたが、体調を崩し、平成13年から石井病院に入院しています。



チャンピオンズカップ制覇 12/6

『第16回チャンピオンズカップ』（G I・ダート1800メートル）が中京競馬場で行われ、グランド牧場（静内古川町）の生産馬サンビスタ号が見事優勝を果たしました。サンビスタ号は、中団を追走し、最後の直線で抜け出し2着に1馬身半差をつけ快勝。牝馬としては、史上初のダートG I制覇という偉業を成し遂げ、今回の勝利でG I 2勝目、重賞6勝目となりました。



ロンジン香港カップ制覇 12/13

『第29回ロンジン香港カップ』（G I・芝2000メートル）が香港シャティン競馬場で行われ、木田牧場（三石本桐）の生産馬エイシンヒカリ号が見事優勝を果たしました。エイシンヒカリ号は、スタートから先頭に立ち、最後の直線でさらに加速し、2着に1馬身差をつけ快勝。初のG I制覇を海外の大舞台で成し遂げ、今回の勝利で重賞3勝目となりました。



クリスマスフェスティバル 12/12

『クリスマスフェスティバル』が図書館三石分館で開催され、クリスマス为主题とした絵本の読み聞かせや、しらかばの切株を用いた工作「きりかぶサンタ」作りを行いました。



子どもの心に響く道徳教育推進事業 12/3

道徳教育委員会による『子どもの心に響く道徳教育推進事業』が、静内第三中学校の1年生74名を対象に行われました。札幌交響楽団のコンサートマスター大平まゆみ氏が、『音』と『気』を題目に講話を行い、音楽は畜産業や音楽療法、胎教等に使用されることや、話の所々で登場する音楽家の有名な曲をヴァイオリンで奏でるなど、いつもの授業とは違った内容に生徒たちは真剣な表情で聞いていました。



しずない海味の市 12/5

『2015しずない海味の市』が町観光情報センターぽっぽで開かれ、新ひだか推奨品や格安の海産物を求める多くの町民でにぎわいました。合併前旧静内町時代の平成10年から始まり、今回で18回目の開催となります。この催しは、各市場において高い評価を受けている地場産品の美味しさ・鮮度・安全性を町内外へ広くPRすることにより、今後における観光事業等へつなげることを目的としています。



ミュージックフェスティバル 12/6

町自衛隊協力会と陸上自衛隊静内駐屯地による『第33回ミュージックフェスティバル』が町公民館で開かれ、約7団体によるステージを多くの来場者が楽しみました。